



茨城県の経済情勢報告

令和 8 年 8 月 5 日

財務省関東財務局水戸財務事務所

本件に関するお問い合わせ先

水戸財務事務所財務課

電話 029-221-3180

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、緩やかに回復しつつある」

項 目	前回（8年4月判断）	今回（8年7月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	緩やかに回復しつつある	

（注）8年7月判断は、前回8年4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は緩やかに回復しつつある。生産活動は緩やかに持ち直しつつあり、雇用情勢は緩やかに持ち直している。

【各項目の判断】

項 目	前回（8年4月判断）	今回（8年7月判断）	前回比較
個人消費	持ち直している	緩やかに回復しつつある	
生産活動	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	
雇用情勢	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	
設備投資	7年度は減少見込みとなっている	8年度は増加見込みとなっている	
企業収益	7年度は減益見込みとなっている	8年度は減益見込みとなっている	
企業の景況感	「下降」超に転じている	「下降」超幅が拡大している	
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	
公共事業	前年を上回っている	前年を上回っている	

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響などに注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、家電大型専門店販売額、ドラッグストア販売額、ホームセンター販売額はいずれも前年を上回っている。乗用車の新車登録届出台数は、軽乗用車は前年を下回っているものの、普通車、小型車は前年を上回っており、全体として前年を上回っている。このほか、旅行などは緩やかに回復しつつある。

このように個人消費は、緩やかに回復しつつある。

(主なヒアリング結果)

- メリハリを効かせた消費傾向が強まっている中、雑貨や衣料品などで節約志向は継続しているが、「ハレの日」におけるイベント消費への支出意欲は高い。また、外食や映画館の需要も比較的堅調に推移しており、消費活動は活発化している。(ショッピングセンター)
- 物価高を背景に多くの競合他社では値上げを実施する中、当社は低価格帯路線のスーパーマーケットであるため、集客が図れており、売上げは好調である。(百貨店・スーパー)
- 調理家電や理美容部門の需要は底堅く、食や美容への投資についてはお金を惜しまない傾向がみられている。また、比較的単価が安いので、来店した際に他の商品の購入に紐づけやすく、売上げの増加につながっている。(家電量販店)
- 2027年4月からエアコンの省エネ基準が引き上げられるに伴い、エアコンの売上げが大幅に伸びている。当社では家電メーカーの型落ちモデルを販売しているため、家電量販店より安価で購入することができ、好調である。(ホームセンター)
- 今年の3月末をもって自動車税環境性能割が廃止されたことで、納車を急がないお客様は4月以降の納車を選択したため、4月の新車登録台数は大幅に増加した。(自動車販売)
- 海外旅行では中東情勢の悪化に伴う燃油サーチャージ上昇の影響を直接受けており、国内旅行へ回帰する動きが見られているものの、目的がはっきりしている留学や報奨旅行等の海外旅行は堅調に推移している。(旅行)

■ 生産活動 「緩やかに持ち直しつつある」

生産を業種別にみると、生産用機械などは減少しているものの、電気機械が増加しているなど、生産活動は緩やかに持ち直しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 世界での半導体市場拡大に伴い、受注量は堅調に推移しており、生産量は前年比で約20%増加している。当社製品は代替性が低いため、今後も増加を見込んでいる。(電気機械)
- 原材料は値上がりしているが供給の懸念は和らいでおり、生産への影響は出ていない。7月以降は例年通りの生産水準に戻る予定ではあるが、足下では取引先の中近東向け輸出が停止したことによる受注減がみられた。(輸送機械)
- 油圧ショベルやダンプの生産量は減少したが、製品の特性上、受注に波がある製品のため、増減は許容範囲。エンジンオイルなど油脂類の調達は、5月まで厳しい状況のなか生産に影響が出ないよう対応していたが、6月に入り好転している。(生産用機械)

■ 雇用情勢 「緩やかに持ち直している」

有効求人倍率は上昇し、新規求人数は増加している。人手不足を背景に企業の採用意欲が高い状況にあるなか、雇用情勢は緩やかに持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- 不足している部門や年代を穴埋めするために、数年前から中途採用を強化しており、通常の生産ラインは充足できているが、専門的な知識や技術が必要としている専門職は募集をかけても集まらず、不足している。(製造)
- 製造業の新規求人数は、世界的に需要が増加している半導体関連を筆頭に、4ヶ月連続で前年同月比を上回り、堅調に推移している。(行政機関)
- ドライバー不足から、準中型免許を持っていない場合でも、仕事をしながら教習所に通ってもらうことで、就職へのハードルを下げ、少しでも若年層を確保できるよう取り組んでいる。(運輸)

■ 設備投資 「8年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」8年4-6月期

- 8年度の設備投資は、製造業では前年比42.1%、非製造業では同33.2%の増加見込みとなっており、全産業では同36.5%の増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「8年度は減益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」8年4-6月期

- 8年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)は、製造業では前年比7.8%の減益見込み、非製造業では同9.4%の増益見込みとなっており、全体では同0.4%の減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超幅が拡大している」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」8年4-6月期

- 企業の景況判断BSIをみると、前四半期(8年1~3月期)に比べ、「下降」超幅が拡大している。先行きについては、8年7~9月期も「下降」超で推移する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回っている」

- 新設住宅着工戸数をみると、持家が前年を上回っているものの、貸家、分譲住宅が前年を下回っており、全体として前年を下回っている。

■ 公共事業 「前年を上回っている」

- 前払金保証請負金額をみると、前年を上回っている。

茨城県の経済情勢報告

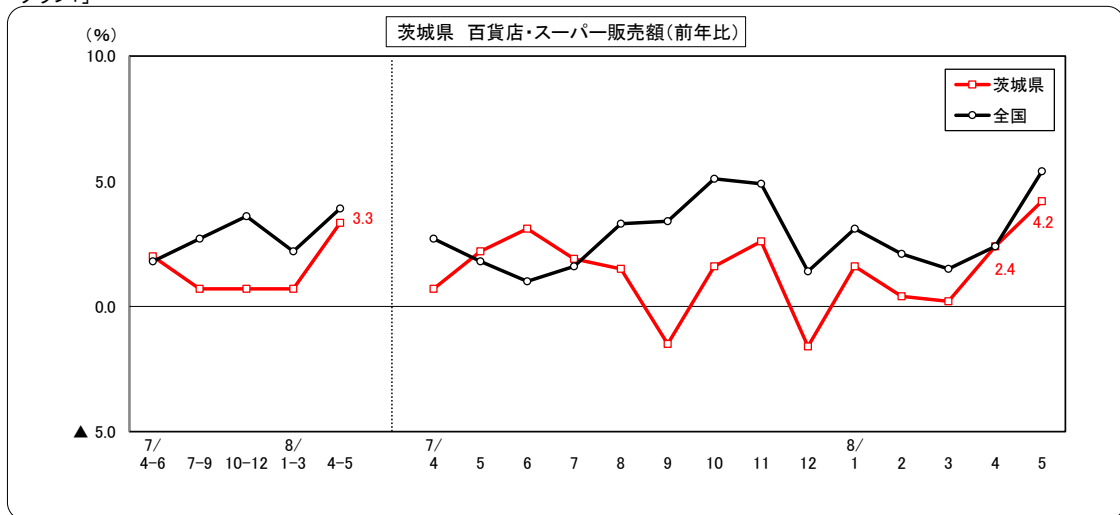
資 料 編

1. 個人消費

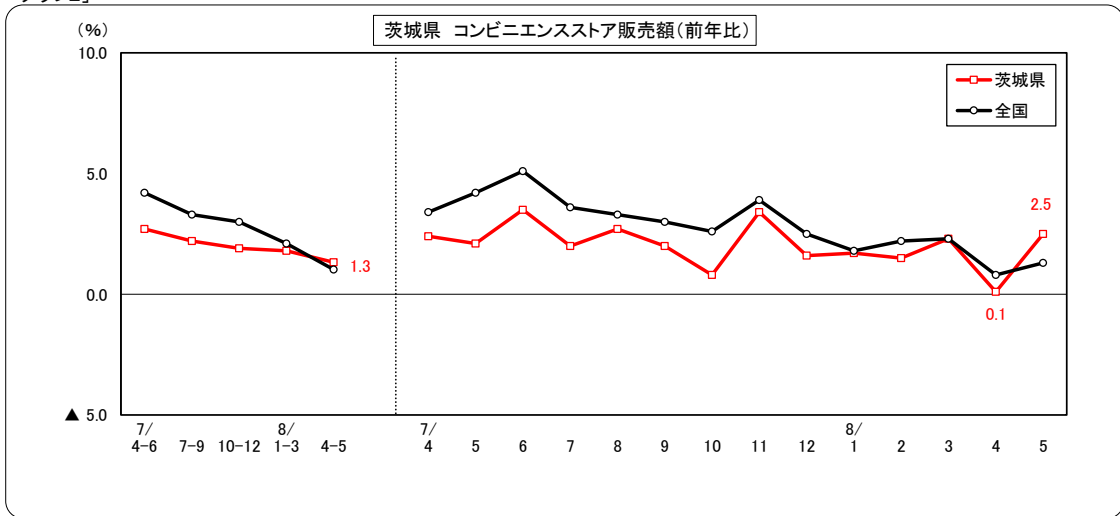
緩やかに回復しつつある



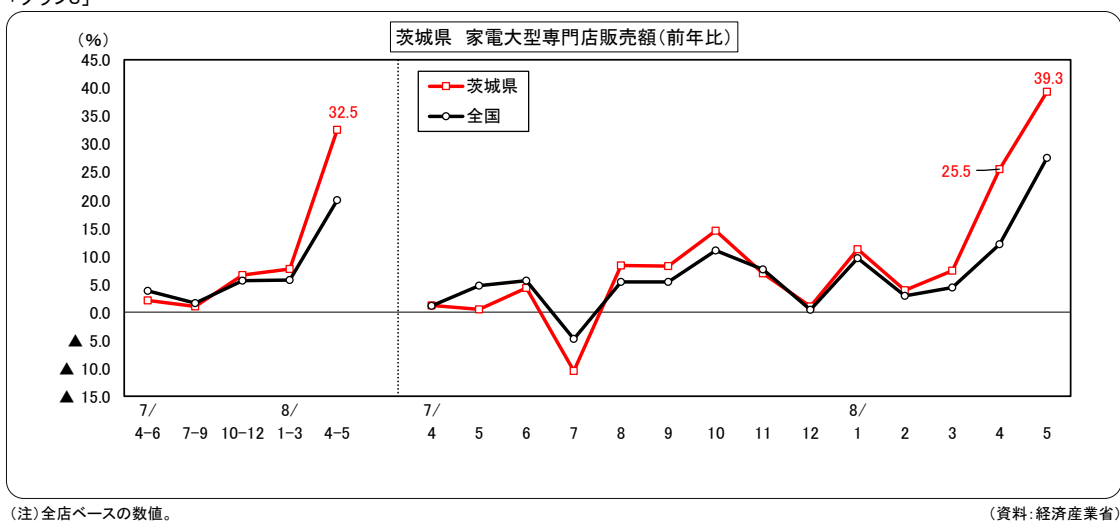
「グラフ1」



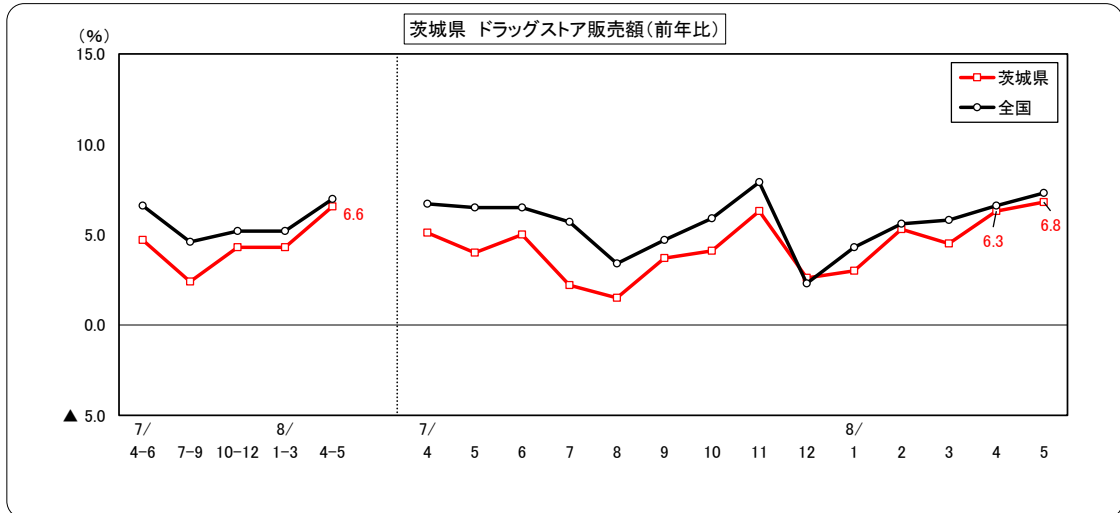
「グラフ2」



「グラフ3」



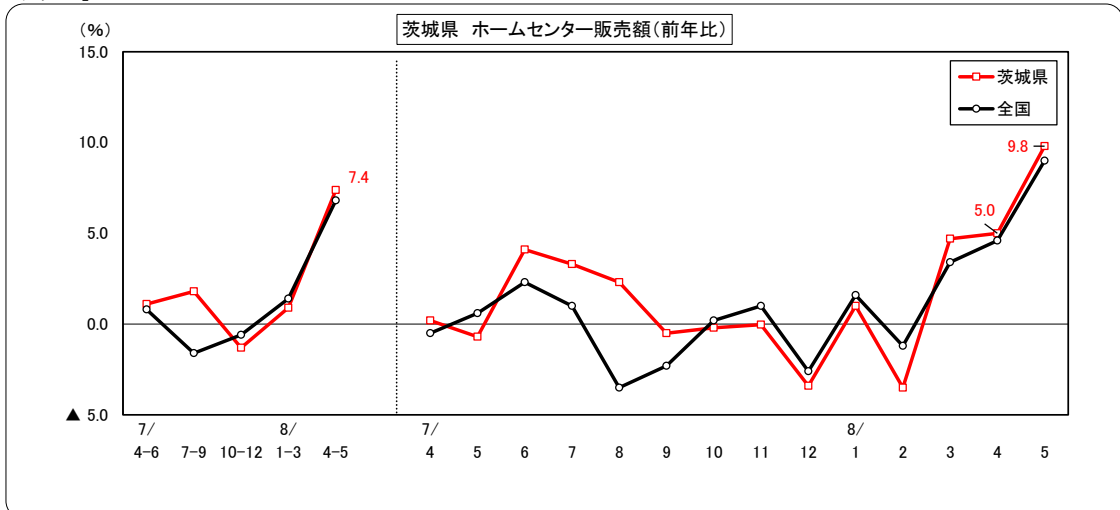
「グラフ4」



(注)全店ベースの数値。

(資料:経済産業省)

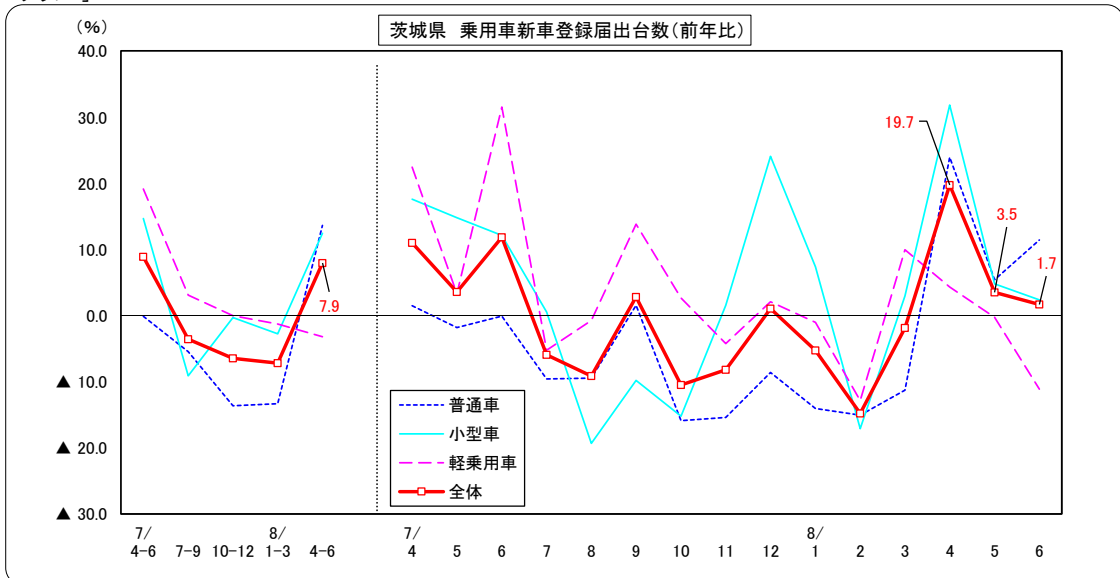
「グラフ5」



(注)全店ベースの数値。

(資料:経済産業省)

「グラフ6」



(注)乗用車新車登録届出数は、ナンバーベースで普通車・小型車・軽乗用車の合計。

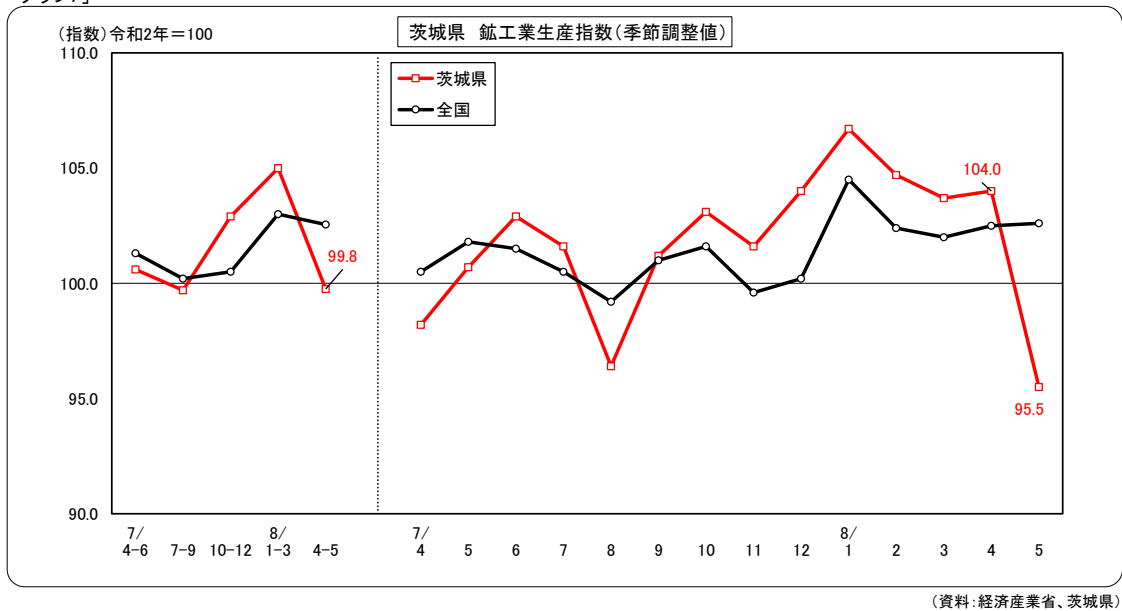
(資料:日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会)

2. 生産活動

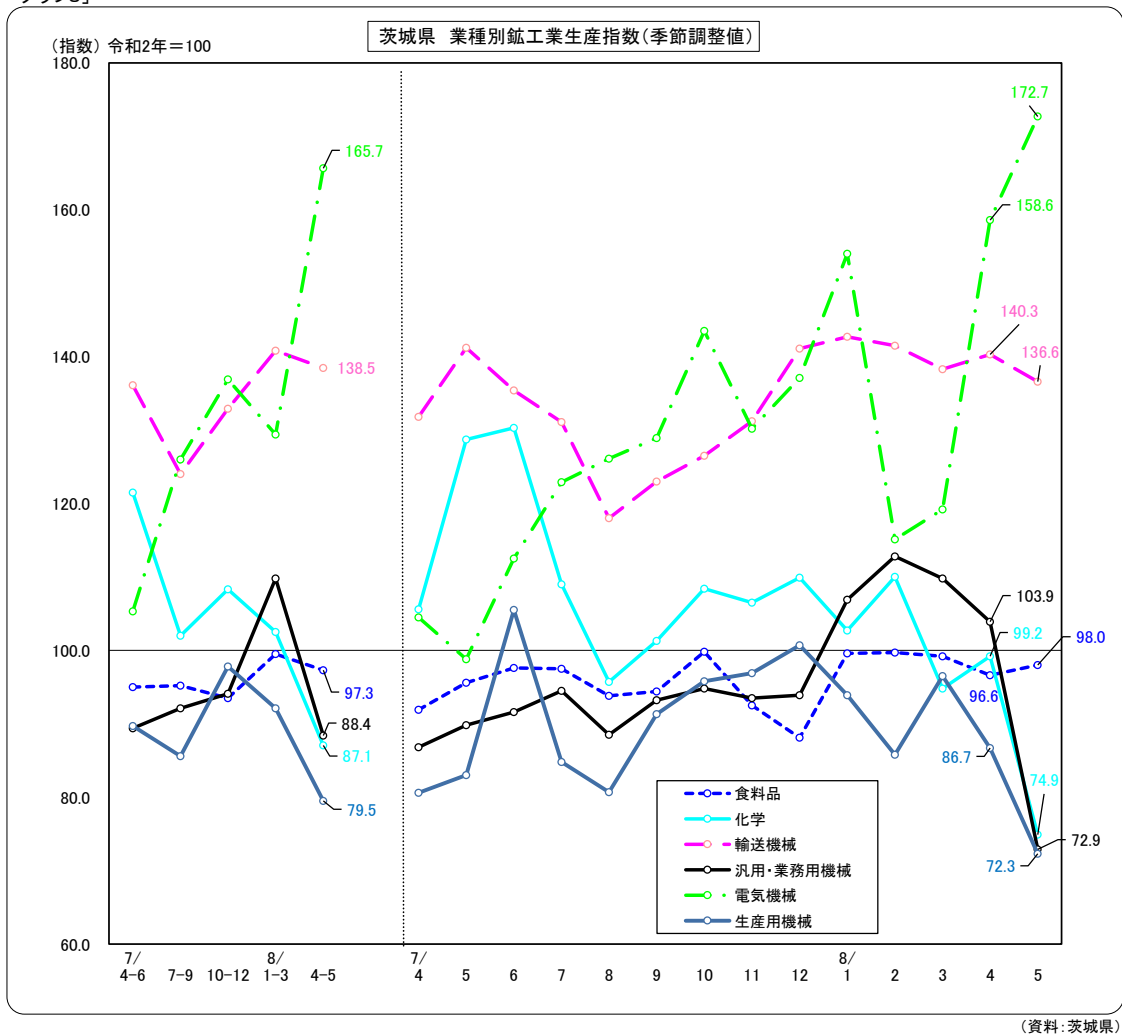
緩やかに持ち直しつつある



「グラフ7」



「グラフ8」

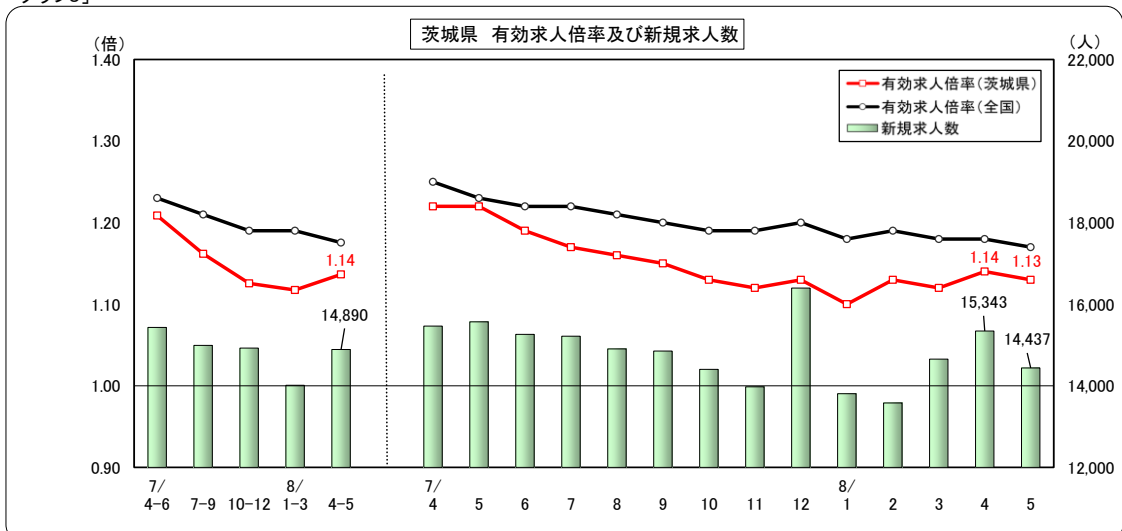


3. 雇用情勢

緩やかに持ち直している



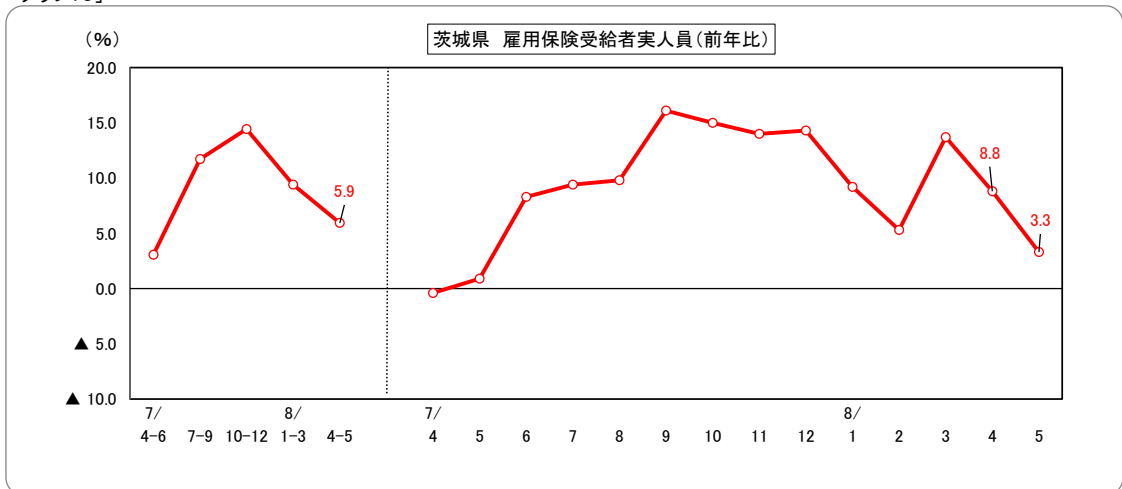
「グラフ9」



(注)パートタイムを含む季節調整値。新規求人数の四半期及び8年4-5月の値は月当たりの平均。

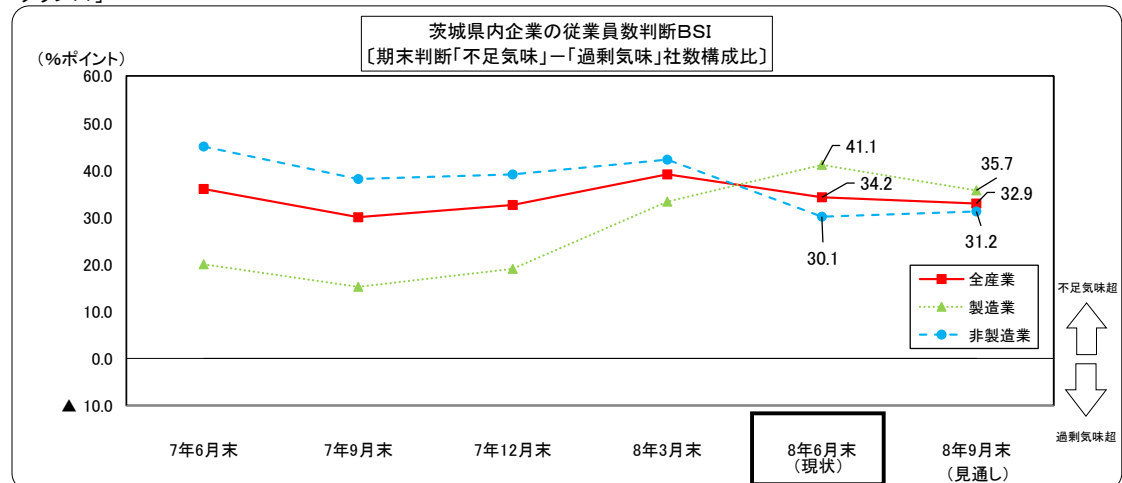
(資料:厚生労働省、茨城労働局)

「グラフ10」



(資料:茨城労働局)

「グラフ11」



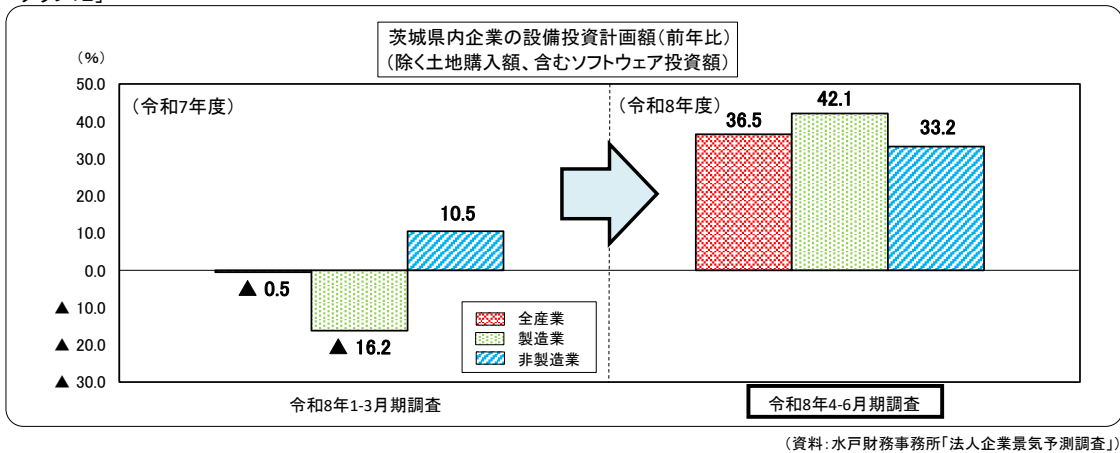
(資料:水戸財務事務所「法人企業景気予測調査」)

4. 設備投資

8年度は増加見込みとなっている



「グラフ12」

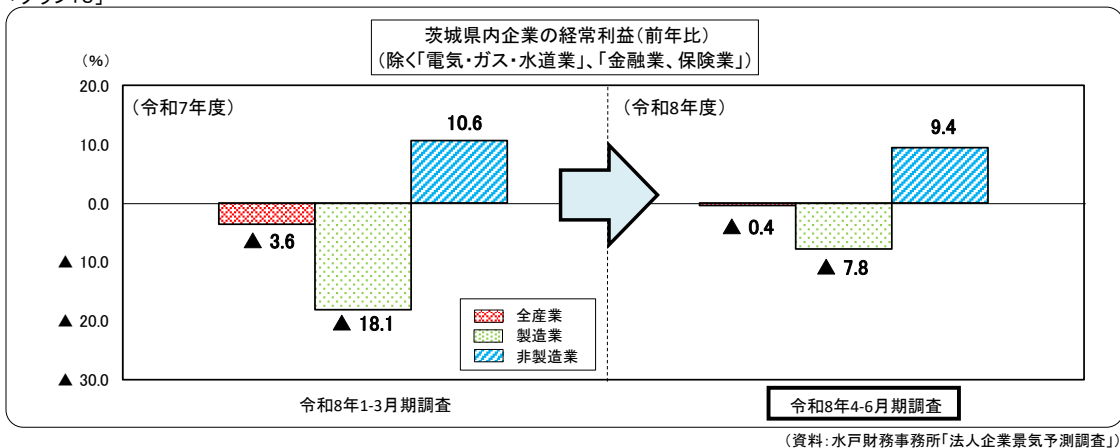


5. 企業収益

8年度は減益見込みとなっている



「グラフ13」

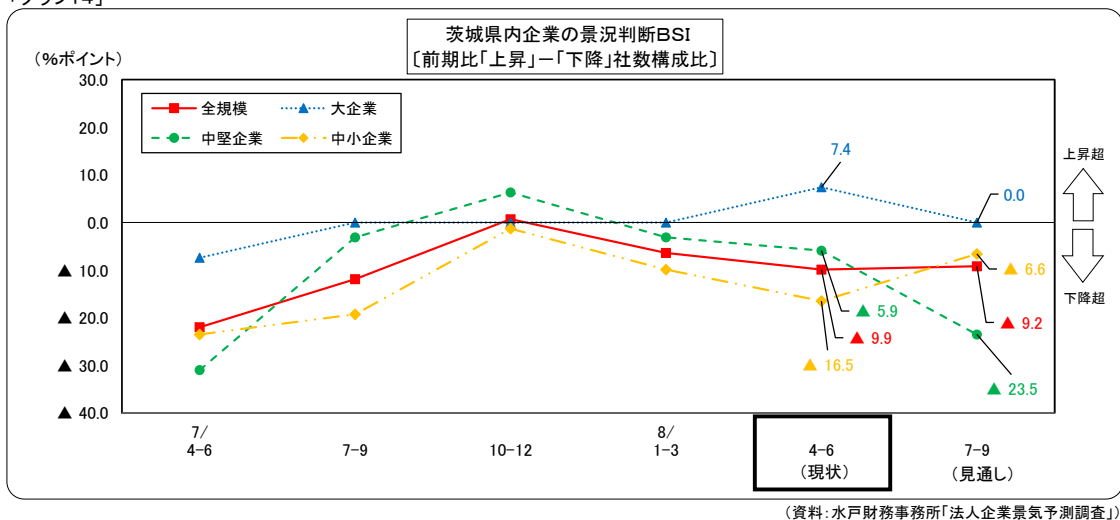


6. 景況感

「下降」超幅が拡大している



「グラフ14」

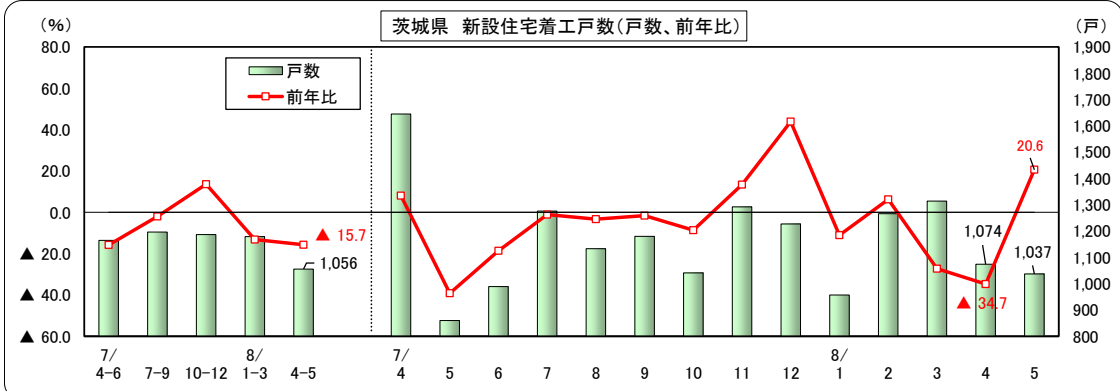


7. 住宅建設

前年を下回っている



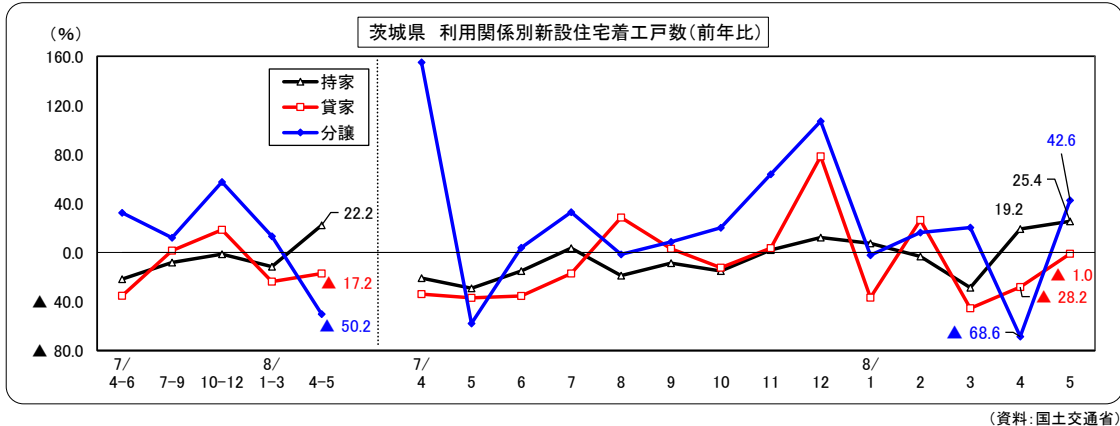
「グラフ15」



(注) 住宅着工戸数の四半期及び8年4-5月の値は月当たりの平均。

(資料: 国土交通省)

「グラフ16」



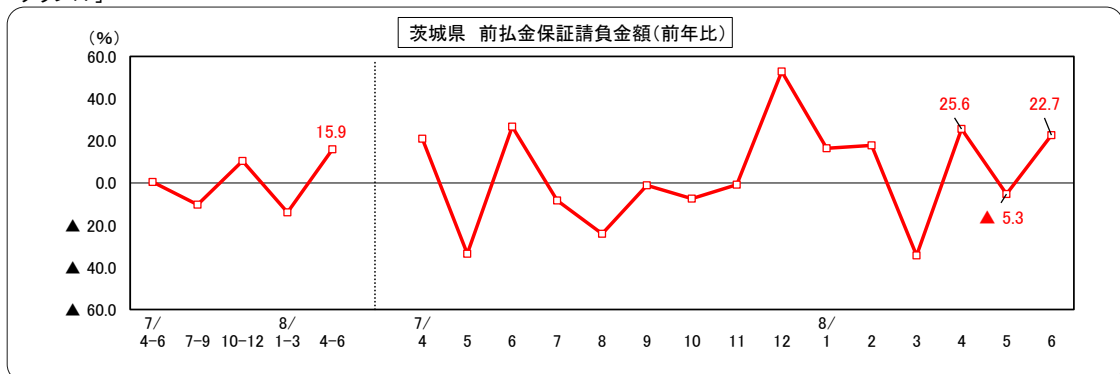
(資料: 国土交通省)

8. 公共事業

前年を上回っている



「グラフ17」



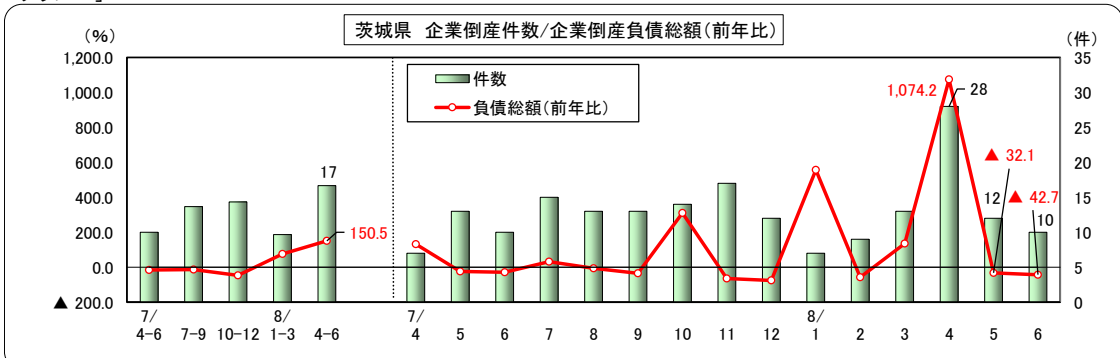
(資料: 北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱)

9. 企業倒産

件数、負債総額ともに前年を上回っている



「グラフ18」



(注) 負債総額1千万円以上。企業倒産件数の四半期は月当たりの平均。

(資料: ㈱東京商工リサーチ)